

# ふきのと

2007  
春号  
No.018

## ようこそ！原監督！！

昨年12月22日(金)にプロ野球 読売巨人軍の原辰徳監督が当院を慰問しました。

大勢の人が集まる中、記念撮影やサインに応じるなどしたほか、あいさつでは「皆さんも前を見て、いい方向へ向かうよう応援している」と力強く語ってくれました。

その後、小児科病棟やなかよし学級の子もたちに「早く良くなるように頑張れ」と声をかけ、握手、サインをするなどして励ましてくれました。





# 認定看護師を ご存知ですか？



「認定看護師」とは、特定の看護分野について、熟練した看護技術と知識を活かして質の高い看護を患者さんに提供する看護師であり、通常の看護師免許に加えて(社)日本看護協会の認定審査を受け認められた看護師のことを言います。現在当院にはホスピスケア認定看護師、感染管理認定看護師の2名の認定看護師がおります。

● 感染管理認定看護師 ● (救急集中治療室) 佐藤 由紀子

## その 1 感染管理認定看護師の役割

感染管理認定看護師は別名ICN (infection control nurse) といいます。日本語だと長く固いイメージがあり親しみにくいですが、英語にすると「アイシーエヌ」ととてもすっきりとし、なじみやすいため、以下ICNと表記してお話させていただきます。

ICNの大きな役割は二つあります。

ひとつは当然のことですが「院内感染を防ぎ、患者さんを感染から守る」もうひとつは「患者さんだけではなく、病院を訪れる人、そして病院で働く全ての人を感染から守る」ことです。患者さんを守るためには、患者さんだけではなく患者さんを取り巻くご家族や面会の方々、そしてもちろん職員のこともあらゆる感染症から守らなくてははいけません。当院には、現在行なっている感染対策が適切かどうか判断する院内感染対策委員会と、現場で実際の感染対策を実行する院内感染対策チーム (infection control team=ICT)、そして各病棟や外来などで感染対策を実践する役割を持つ感染対策リンクナース委員会があります。私はこの3つの組織の

中で、ICNの役割を果たすために、感染対策マニュアルの作成、病院内巡回による感染対策の現状把握や改善、院内の感染発生率がどの程度なのかというサーベイランス (監視)、職員教育などを行なっています。ICNやICTは直接患者さんにお会いして治療や看護を提供する事がほとんどありません。ですが「縁の下の力持ち」として患者さん、そして職員を感染から守るために活動しています。院内感染がまったくない病院が理想であるのは当然ですが、医療の高度化や抗生剤の使用、ノロウイルスやインフルエンザなど一般社会で大流行してしまう感染症の発生などにより完全にゼロにはできない現状もあります。そのような社会情勢の中でできるだけ院内での感染が少なくなるよう、そして患者さんやご家族が安心して当院を利用してくださるよう日々努力をしています。医療関係者だけでなく、市民の皆様にも感染症や感染対策についてのお話を提供することができますので、ご質問・ご相談があればご遠慮なくお申し出下さい。

せき “ゴホッ” “ゴホッ” ご存知ですか？咳やくしゃみのしぶきは1~3m飛び散ります。

# 咳エチケットにご協力を!!

マスクしようよ

### ◎ みんなの思いやり咳エチケット!

咳 (せき) やくしゃみのしぶきにはたくさんのウイルスやバイキンが含まれています。それが空気中にふきだされることで、風邪やインフルエンザなどの病原体が空気中をただよい、それを吸い込むことで多くの人が感染を起こします。咳やくしゃみが出る場合にはマスクを正しくつけ、しぶきをまきちらさないようご協力をお願いします。インフルエンザの流行時期には病院職員も感染を防ぐために、マスクを着用させていただきます。ご理解・ご協力をお願いします。



# 赤ちゃんの股関節脱臼



「先天性股関節脱臼」は放っておくと成人まで影響する疾患です。早期発見の大切さなどについて、リハビリテーション科の柏倉剛先生にお話を伺いました。

先天性股関節脱臼という赤ちゃんの病気があります。以前は全出生数に対し1~2%程度でしたが、最近では予防活動や生活習慣の変化に伴い約1/10まで激減しています。この病気の発生には遺伝的に脱臼しやすい素因がある場合や、子宮内での姿勢異常など産まれてくる前から問題がある場合と出生後の間違ったおむつや抱き方などの生活習慣により脱臼してしまう場合があります。それに加え、向き癖によっても脱臼しやすくなると言われるようになりました。赤ちゃんは頸(くび)が坐る前でも頸を左右にむけることができます。しかし一方しか向かない赤ちゃんがいます。このような場合を向き癖といいます。向いている方の反対の股関節脱臼を起こしやすくなります。向き癖が高度になると頭が扁平化したりして他にも障害がでますので

注意が必要です。

股関節脱臼の発生が減少したうえ、出生数の低下もあり、医療者側でも診察する機会が減ったため、最近では診断遅延例が増えています。この病気は早期に見つかるほど治療しやすく、成績もいため、4カ月前後で見つけた方がいいのですが、数年前に秋田県での発生状況を調べた結果、最近の傾向として診断時期が遅くなっていること(約8.4カ月)と、治療に難渋する症例が増えていることが判りました。

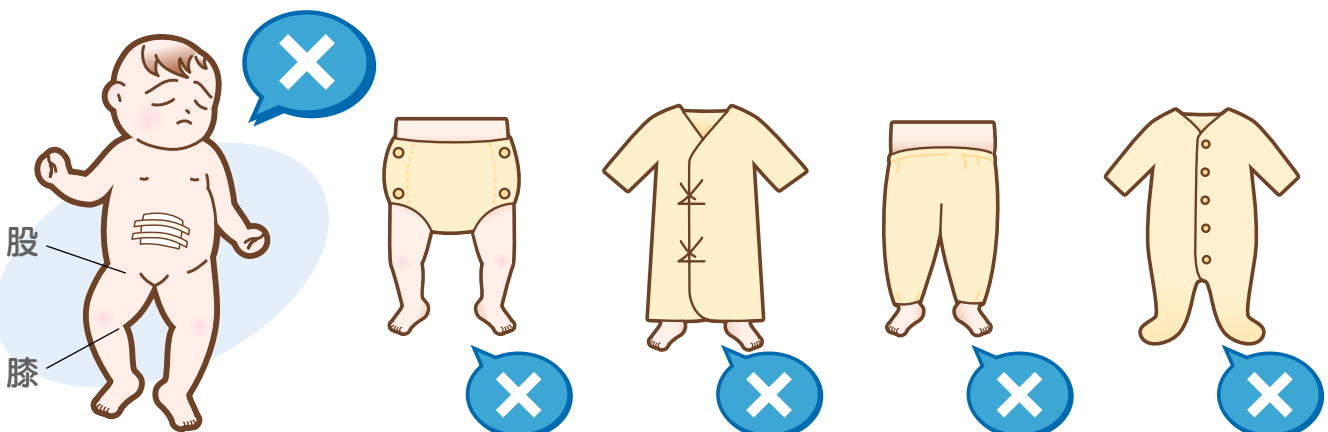
赤ちゃんの股関節はまだ骨化がおきていないため、診断に際しレントゲンは無用ではありませんし被爆の心配があります。最近、エコー健診が全国的に拡がってきています。エコーは妊婦検診にも使用されるくらい、赤ちゃんにとって侵襲の少ない方法です。秋田県内ではほとんど行われていないのですが、当院では熟練のエキスパートが行っています。心配のある方は小児科か整形外科にご相談ください。

## あしの自由な動きを妨げないようにしましょう!!



赤ちゃんが自然に見せるあしの開きや動きを妨げないようなオムツや衣服の着用が脱臼予防になります

## 股・膝を伸ばしたままにするのは良くない!





# 「第2CT装置」 稼動のお知らせ

放射線科では、平成18年11月より第1撮影室（旧DIP撮影室及び断層撮影室）に於いて新CT装置（第2CT）を稼動しています。

この装置の導入目的は、CT検査をもっと手軽に出来るように、たとえば胸部写真を撮影するようにシンプルにオーダを出し読影する事をイメージしました。

その結果「放射線科の読影が無い」・「予約が無い」・「前回或いは他の写真を持参しない」・「造影剤を使用しない」の「よんない」で検査できる事が、特徴となっています。

現在 第2CT装置は、泌尿器科・脳外科・神経内科・耳鼻科・整形外科・呼吸器科などが積極的に利用してお



「私たちがスタッフです。よろしくお願いします」

りますが、その他の診療科も、より積極的に利用して下さる事を期待しております。

第2CT装置の稼動及びその内容について、「ふきのとう」の紙面を借りてお知らせいたしました。

## 第12回市民のための健康講座開催のお知らせ



### 高齢化社会を快適に過ごすための健康講座

健康ではつらつとした生活を高齢者が送るために日頃気をつけていただきたいことを心身両面からわかりやすくお話しします。参加は無料となっております。お気軽にご参加下さい。

**日時** 平成19年4月21日（土曜日）  
午前10時から11時30分

**場所** 市立秋田総合病院 1階外来ホール

**参加費** 無料

## 電話予約センターの開設について

待ち時間の短縮および医療サービスの向上を目指して「電話予約センター」で予約受付を開始しました。

### 1 電話予約受付について

☎ 電話予約センター

**予約専用電話** 018-867-7489

**受付時間** 午前8時～午後3時  
休診日  
(土、日、祝日など)を除きます

### 2 予約の変更や取り消しについて

予約の変更や取り消しも受け付けますが、検査を伴う場合は、各科外来にお問い合わせください。(午後3時～午後4時30分)

### 3 注意事項について

- (1) 診察時に次回の予約をした方は、電話予約の必要はありません。
- (2) 予約の枠には限りがありますので、ご希望の時間がとれない場合があります。
- (3) 予約した場合でも、救急患者等の対応のために、診察開始時刻が予約時刻より遅れる場合があります。
- (4) 診療科によっては予約できない科もあります。
- (5) 検査等の予約はいたしません。
- (6) 電話予約は、診察希望日以前のなるべく早い時期に予約してください。
- (7) 平成19年4月1日以降、同一日の予約は2科までとさせていただきます。

## 市立秋田総合病院

### 理念

- 市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

### 基本方針

- 患者さんに信頼されるあたたかい、心の通い合う医療を行います。
- 多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。
- 患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努めます。
- 良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務の改善と効率的な運営に努めます。

編集・発行/市立秋田総合病院 平成19年2月28日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号 Tel(代表):018-823-4171 Fax:018-866-7026

E-mail: ro-homn@city.akita.akita.jp http://www.city.akita.akita.jp/city/ho/newwho.default.htm